



2024年8月1日

各位

会社名 三菱ケミカルグループ株式会社
代表者名 代表執行役社長 筑本 学
(コード番号：4188 東証プライム市場)

問合せ先 [報道関係]
広報本部 メディアリレーション部
TEL. 03-6748-7140
[IR 関係]
IR 部
TEL. 03-6748-7120

炭素事業の構造改革に関するお知らせ

当社は、本日開催の執行役会議において、連結子会社である三菱ケミカル株式会社の炭素事業における収益改善に向けた構造改革の方針及びコークス事業の生産体制最適化について決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 概要

当社は、2021年12月に公表した経営方針「Forging the future 未来を拓く」に基づき、炭素事業を「分離・再編し、独立化をすすめる事業」と位置付け、カーブアウトに向けて検討を進めてまいりました。一方で、当事業は国内鉄鋼業界の需要動向を踏まえ、香川事業所におけるコークス炉設備縮小や輸出入荷設備増強を進め、海外輸出展開型のビジネスモデルへと変革してきましたが、足元は中国を中心とした鋼材需要の不振に伴い海外コークス市況が低迷しており厳しい事業環境となっております。

このような環境下、当社は、当事業のカーブアウトよりも生産体制及び販売政策の見直しが急務であると判断し、香川事業所で有するコークス炉の更なる生産規模縮小を決定いたしました。加えて、国内外の販売ポートフォリオの見直しや追加の合理化策等を実施し、市況変動に左右されない事業構造へ転換します。

なお、当社グループ全体の事業ポートフォリオにおける炭素事業の中長期的な位置づけに関しては、本構造改革を着実に推進し引き続き検討してまいります。

2. 生産体制最適化の詳細・日程

- (1) 対象工場所在地：香川事業所
- (2) 事業内容：コークスの製造
- (3) 生産能力：現有のコークス炉 250 門を 150 門に縮小
- (4) 時期：2025年3月末までに対象となる 100 門での生産を終了

3. 今後の見通し

2024年8月1日開催の執行役会議で決議した本構造改革に伴い、炭素事業は販売ポートフォリオの見直しによる売買差改善やコスト削減等により 2026年3月期からの黒字化を目指します。また、生産規模縮小を決定したことに伴い、非経常損失として 2025年3月期第2四半期において約 70 億円の固定資産減損損失を計上する見込みです。加えて、2025年3月期第2四半期以降において撤去費用等を計上する見込みですが、影響額は現在精査中であり、公表すべき事項が発生した場合には速やかに公表いたします。

(参考) 当期連結業績予想 (2024年8月1日公表分) 及び前期連結実績

	売上収益	コア営業利益	営業利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円
当期連結業績予想 (2025年3月期)	4,623,000	250,000	210,000	116,000	52,000	36.55
前期連結実績 (2024年3月期)	4,387,218	208,116	261,831	178,439	119,596	84.07

以 上